

はにい

持続可能な社会

平成30年1月29日



ある中学校の、教室の荷物掛けフックの様子です。体操服やシューズ、部活動の道具など様々な荷物がギュッと詰められ、重なるように掛けてあります。その多くに、小学校の家庭科で制作したナップザックがみられます。このナップザックに着目した先生が、「毎日使っていて、どう？ より使いやすく修繕してみようか？」と生徒に問いかけました。

「小物がパッと出せるポケットを付けたい」

「紐を長くし、通し口を縫い直したい」
「荷物の量によって、袋のサイズを変えたい」

生徒達は、それぞれの思いを発表し、自分の家から材料を持ち寄りました。

「小さい頃のパーカーのファスナー部分を使って、ポケットを作る」

「パーカーの生地って柔らかいから、片手で押さえないと小物が出せず、かえって使いにくいんじゃないかな」

「僕は小さい頃のジーンズを持ってきた。この生地でリコーダーを入れるポケットを作る」
「それって、布が厚いからミシンで縫うの大変そう」



「あっ、縫い付けず、スナップで留めたらどう？」

友達のアドバイスは、自分が想像した設計図を実現へと導きます。

「私は以前制作したブックカバーをほどいてポケットにする」

「なんか、布ってすごいね」

「思い出と縫う技があると、よみがえる・・・。」

「よみがえる！」

授業の最後に、先生が「持続可能な社会」と板書しました。



『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。
ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp